

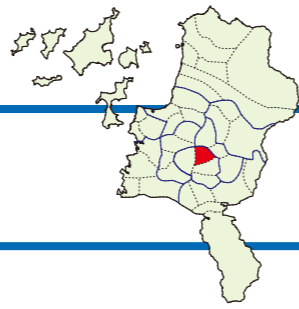
しのめ

# 東雲地区

面積：1.21km<sup>2</sup>

人口：8,960人（高齢化率 27.2%）

世帯数：5,122世帯

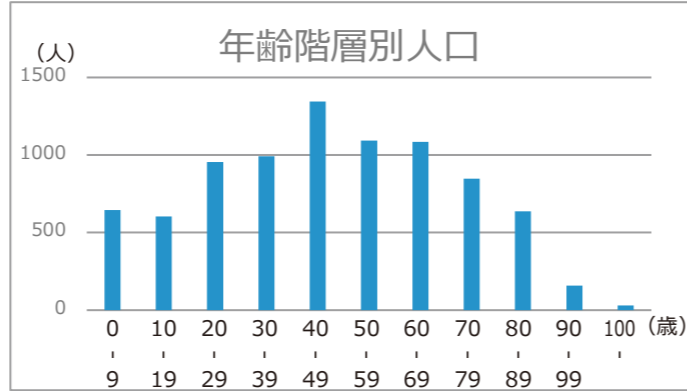


## 【地区の特色】

松山城を仰ぎ市の中心部に位置し、交通の便も良く気象台・中予地方局・警察署・松山赤十字病院をはじめ、高層マンション等ビル群に囲まれ、教育機関も幼稚園・小学校・中学校・高校・大学等その数多く、文教・商業・住宅地域として発展している。また、坊っちゃん列車が走り小説「坂の上の雲」の主人公・秋山兄弟の生誕地でもある。



心は一つ・絆



## 【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の中心部に位置し、バス・路面電車が走るなど交通の便が良い</li> <li>・松山城、秋山兄弟生誕地、明教館など観光、文化、教育施設に恵まれた文教商業地域</li> <li>・日赤松山病院など医療機関が多い</li> <li>・一時減少傾向の人口は増加傾向にある ・地域の子どもの見守り活動が盛んである</li> <li>・行政機関（地方局等）が多い ・松山東警察署</li> </ul>
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高層分譲マンション増加によるコミュニケーション不足（町内会未加入）</li> <li>・スーパーが少ない ・マンション増加で景観が悪い ・電気屋がない</li> <li>・自動車の増加による危険度が高い</li> <li>・道路が狭い（戦災にあっていないので昔のままの道幅）</li> <li>・新しい住民とのコミュニケーションが図りにくい</li> <li>・学生の多い賃貸マンションのゴミ出しルールが守られていない</li> <li>・市役所の支所がない</li> </ul>
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者世帯の増加</li> <li>・マンション世帯の増加によりコミュニケーションがとりにくい</li> <li>・スーパーが少なく買い物に困る</li> <li>・道路幅が狭く危険</li> <li>・支える側の人材不足</li> <li>・各組織の連携</li> </ul>

## 東雲地区社会福祉協議会

支えあう力で、明るく、元気な地域づくり

＜拠点＞ 松山市二番町4丁目3-4（松山市番町福祉センター）

構成団体	地区民協・町内会連合会・共同募金会・公民館・小学校・交通安全支部員・婦人会 高齢クラブ連合会・更正保護女性部会・子ども会連合会・スポーツ推進員	
主な取り組み	活動内容	
福祉だよりの発行	年2回、6,800部を作成し、地域福祉やわが街自慢など地域に関する情報を発信するために全戸配布しています。	
日帰りツアー	東雲校区住民で50歳以上の方を対象に、隔年日帰りで各地の名所へ出かけています。普段、なかなか出かけられない方から好評を得ています。	
高齢者パソコン教室	高齢者を対象にパソコンの使い方教室を開催しています。	

## 認知症予防講座（認知症プログラム）

NPOとの連携のもと、地区住民を対象に、苦手なことに楽しくチャレンジしながら五感を使い、身体を動かしながら脳を刺激することで認知症予防となる講座を開催しています。



## ＜地区社協が目指すもの＞

東雲地区は、多くの史跡、文化財に恵まれた市の中心部に位置し、交通の便も良く、地域周辺にはコンビニをはじめ病院や保健福祉施設、警察署等の立地など住環境に恵まれる中、高層分譲マンション建設等により新たな住民の流入に加え、少子高齢化の進展が著しくなっています。

今後は住民同士の繋がりやふれあいを高め、「地域はひとつ」の絆を高めるため、民児協、町内会等各団体の協力・支援等により各種事業を展開し、子どもから高齢者まで明るく、いきいき生活できる地域づくりを目指します。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	23名 2名	■町内会・自治会・区長会等	40団体
	■まち協の設立	—	■高齢クラブ	8クラブ
			■子ども会	6団体
			■自主防災組織	31組織

観光資源に恵まれ、また、生活環境としても医療・教育等を含め住みやすいことが特徴です。地区社協では、平成30年度よりNPO法人と連携した4回コースの認知症予防講座を開催しており、地縁型とテーマ型の組織がつながった活動を実践しています。市の中心部に暮らす子育て家庭では生活面の利便性の恩恵を受けると同時に、子どもの安全面に不安を抱えることも珍しくありませんが、本地区では子どもの見守りが盛んに行われており、住民が町を支えているといえます。新しい住民の流入が進む中で、地区社協の高齢者向けパソコン教室等の企画は、地区に馴染みのない方でも参加しやすく、今後の地区の在り方を考えるうえで先駆的な取り組みであると考えられます。





# 地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

## 『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
	中島地区

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区
	立岩地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
久谷地区	

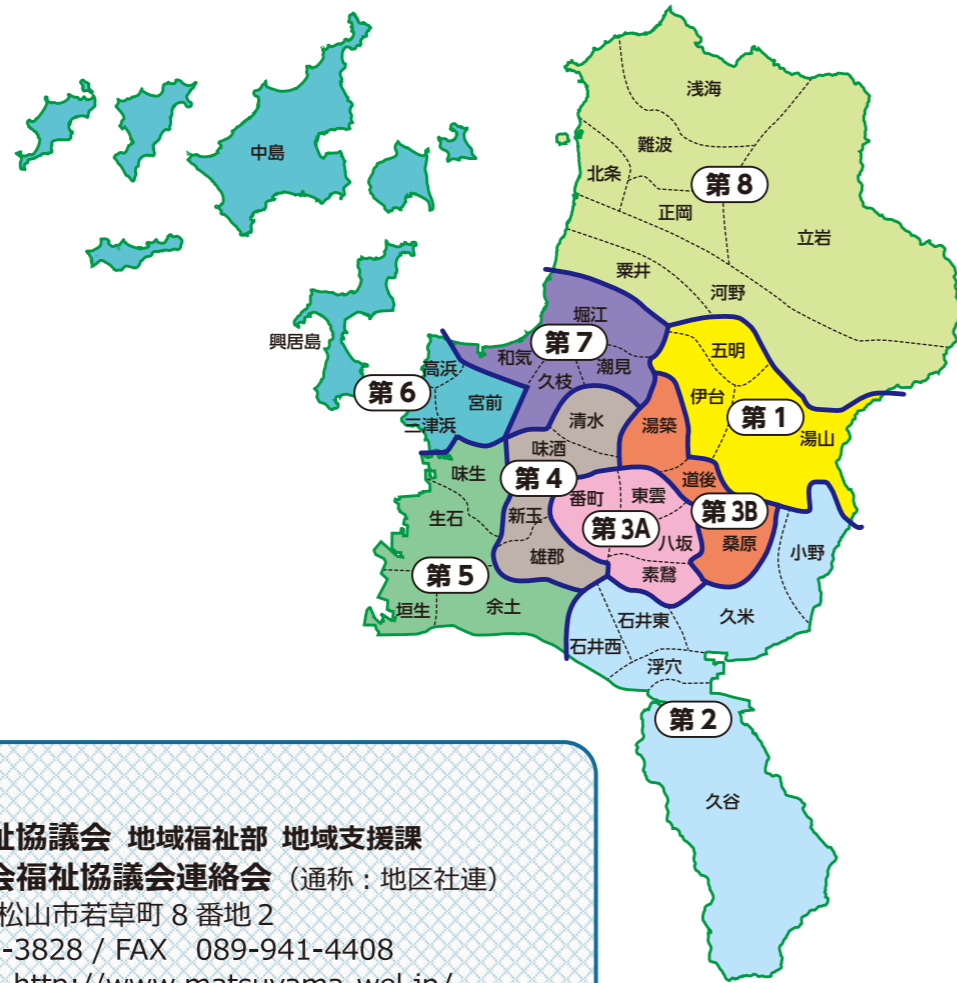
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課  
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)  
〒790-0808 松山市若草町8番地2  
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408  
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

## <『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

### ①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

### ②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

### ③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

### ④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

### ⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏